

Rotary



# The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算 3 2 3 3  
2025年2月28日  
第27回例会

## The Magic of Rotary

ロータリーのマジック

2024~2025年度 R I 会長  
ステファニー A アーチック

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171 例会場 事務局 清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505



人吉ロータリークラブ  
ホームページ



フェイスブックページ

[E-mail]

hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2024~2025年度 人吉ロータリークラブテーマ  
もっと、ロータリーを楽しもう

### 本日の例会

国歌斉唱・Rソング斉唱

会長の時間

幹事報告

出席率報告、会務報告

R財団認証ピン、メジャードナー認証品の贈呈

R I 創立記念卓話

寄付カード

点鐘

岩井和彦 会長

歌 唱

ソングリーダー 小川孝博 委員

国 歌	「君が代」
R S	「奉仕の理想」

司会・進行

プログラム 春木 頴 委員長

### 会長の時間

会長 岩井和彦



皆さんこんにちは。寒い毎日が嘘みたいに暖かくなり梅の花が咲き始め、桜も早いところでは蕾が膨らみ、春を感じられるようになってきました。この過ごしやすい日々が長く続けば良いのですが、予報士が言うのは5月末は夏日になるそうですので、梅雨前に夏が来るのではと心配しているところであります。

花粉症の方には大変な季節だと思いますので、頑張ってくださいと言っていいのか分かりませんが、この時期を無事乗り切ってください。

さて、2月23日はRI創立記念日です。1905年アメリ

カ・シカゴにおいて、ポールハリスが3名の友人とロータリークラブを設立して120年目に入りました。4名で始めたクラブは、現在200以上の国と地域に広がり約120万人の会員を抱える国際的なクラブとなっています。2月23日は世界理解と平和の日でもあり、ロータリアン及び平和構築者としての私たちの素晴らしい功績と共に振り返るには絶好の機会です。ロータリーと、皆さんの地域や世界中で平和と変化を生み出すためのたゆまぬ努力を祝いましょう。と先日メールが届いていましたので、本日はRI創立記念日を皆様で祝いましょう。本日は安達R情報委員長から詳しくお話をあります。どうぞよろしくお願ひいたします。

2月9日~13日2025年国際協議会が開催されました。RI会長エレクトによる年次RI会長メッセージ講演記事等がMyROTARYからご覧いただけますので是非ご一読ください。少し内容に触れますと、国際ロータリーのマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長エレクトは、「地球上で最も有能なボランティアのチーム」を拡大する計画の概要を示し、成長、奉仕、つながりを大切にして「よいことのために手を取り合おう」と会員に呼びかけました。

「ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類ない世界的広がりでもありません。それは会員です」。ロータリーが世界に与えることのできる最大の贈り物は、その会員であると言う私の理解が深まりましたと話されています。また、クラブの成長のためには「不可欠な3つの柱」として、革新、継続性、パートナーシップを挙げられておりますが、このことについては疑問を持たれる方もいらっしゃるようですので、是非MyROTARYからご覧いただいて自分なりに考えられたらいかがでしょうか。

話は変わりますが、本日2月28日は「バカヤローの日」です。1953年(昭和28年)の2月28日、自由党の吉田茂首相が衆議院予算委員会で右派社会党の西村栄一議員の質疑に対して「バカヤロー」と発言したことに由来し、「バカヤロー」と言えば大声を出したような印象を受けますが、席に戻る際に小さな声でボソッとつぶやいたのを偶然マイクが拾ったそうです。気付いた

西村議員が聞きとがめたために、吉田首相はこの発言を取り消して、西村議員もそれを了承したのですが、自由党非主流派の裏での画策もあり右派社会党は「吉田首相懲罰動議」を提出・可決され、更に、内閣不信任案が提出・可決され、衆議院解散を選び解散したので「バカヤロー解散」と言われ今でも語り継がれています。皆様も「バカヤロー」と言いたいこともあると思いますが、ロータリアンとして言葉に出さずグッと飲み込んで危機回避してくださいと言いつつも、一番自分に言い聞かせて、会長の時間を終わります。

### 幹事報告

幹事 伊久美早利

#### ○臨時理事会報告

第1号議案 人吉RC奨学生第11期生

(期間: 2025年4月~2026年3月) 書類選考の件

・学校長による推薦 球磨工業高校2名 人吉高校4名

第2号議案 地区大会登録料の件

・地区大会欠席者には負担金として5000円

(登録料10,000円の半額) を頂く

・家族参加者には家族登録料8000円の(半額4000円)を助成する

#### ○今後の例会について

・3/7 通常例会 結婚誕生祝、奨学生選出報告、友の紹介、地区ラーニングセミナー(2/22)報告

・3/14 通常例会 水と衛生月間卓話

・3/21 休会

### 出席率報告

委員長 吉野孝司

現会員数	52名	出席免除会員数	0名
出席義務会員数	52名		
欠席者数	17名		
出席者数	35名		
免除会員出席数	0名		

**本日の出席率  
67.31%**



### 【R財団寄付】

第7回マルチプル・ポール・ハリス・フェロー認証ビン  
Major Donor Level 1 クリスタル認証品・襟ピン

### 堤 正博会員



### 【R情報委員会】



R I 創立記念卓話

委員長 安達玄一

### 「国際ロータリーと日本ロータリーの歩み」

国際ロータリーと日本のロータリーの歩みを縦軸の年表に分けて進めたいと思います。

1905年(明治38年)

2月23日創立「世界理解と平和週間」

1920年(大正9年)

日本のRC承認 国際連盟常任理事国

1922年(大正11年)

国際ロータリー (RI) と正式に改称

1931年(昭和6年) 満州事変

1932年(昭和7年) 5・15事件 日本政党政治の終わり

1933年(昭和8年) 国際連盟脱退

1935年(昭和10年) 2月9日 ポールハリス初来日

1936年(昭和11年) 2・26事件

1940年(昭和12年) 日独伊三国同盟 日本RI脱退

1941年(昭和16年) 真珠湾攻撃

1945年(昭和20年) 原爆投下 終戦

1947年(昭和22年) ポールハリス逝去

1949年(昭和24年) 日本RIに復帰

ロータリーは、アメリカのシカゴにて1,905年2月23日に一人の弁護士ポールハリスのビジョンから始まりました。

当時のアメリカの時代背景は、1,600年代にイギリス国教会からの迫害を逃れてきたピューリタンがマイフラワー号に乗船し北アメリカ東海岸のプリマス

に上陸し、自由と平等・フロンティアを建国の精神とした国でした。イギリスからの独立戦争に勝利し、その後の南北戦争後から40年ほどたった時代です。

## ○創立の動機

悪がはびこる都会での孤独を憂い、心を割って話す事の出来る仲間たちとの「親睦と仕事上の相互扶助」それがどうして国際的な奉仕活動につながっていったのか？それは創立2年後のある出来事が始まりです。

シカゴで弁理士を生業にするドナルド・カーターに入会を勧誘したら、にべもなく断られました。

理由は、「自分たちの利益だけを追求する団体は、社会的に意味がない。そんな団体はやがて崩壊する」と言うのです。38歳になったポールハリスは、その言葉にすっかり感心しました。そして、「自分のまわりがみんな幸せでなければ、自分たちも幸福になれないのだ。世のため人のために、何か自分たちの出来ることしよう」と決意しました。

※その決意がロータリーの基本理念となっています。

こうしてロータリーが全米から世界中に広まるさなかにポールハリスが日本に初来日した時の話です。日本のロータリアンから、ここまで国際化すると想像されていましたか、との問い合わせに「ここまで広がるとは想像していなかった」と答えています。でも戦争への足音は聞こえていました。

翌年にポールハリスが著書に残した言葉です。

「戦争に至る道は、よく舗装されたハイウェイです。平和への道は、未だに茨(いばら)の道です。」

当時のポールハリスはロータリーを通じて国際理解と平和を推進しようとしたが、しかし彼自身もその道が険しいものであることを現実に痛感していたためこの発言となったのだろうと思います。

さて、ここからロータリーの勉強になります。

ロータリーは世界中に広がりつづけ、公式な標語が出来上がります。

それは、

「超我の奉仕」

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の二つの標語です。

第1標語の「超我の奉仕」はポールハリス語録によく出てきますが、自我、というエゴを克服することを目指していると言われます。

英語的には、我を超える、のニュアンスに近いと思われますがポールハリスは1,922年のRIの国際大会でこんなメッセージを発信。

それは、

「私たちの生きる目的は何でしょうか？学ぶことです」

「何を学ぶのですか、人生を学ぶのです」

「人生から何を学ぶのですか、人生から学ぶことは唯一の事です」

「人生を送る中で、いかにエゴと決別するかを学びます」

と述べました。いかにも仏教的で日本的な感覚ではないでしょうか。当時の日本の多くのロータリアンがポールハリスから大きな影響を受けたであろうことが

想像できると思います。

2番目の標語です。

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

この標語も英語から日本語へ翻訳するときに試行錯誤されたみたいです。日本的な感覚では、「情けは人の為ならず」が分かり易いかもしれません。これが広がっていくと世の中が良くなっていますね。

以上がロータリーの2つの標語です。

次に4つのテストです。

4つのテスト

言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

四つのテストは、1,932年にハーバートJ.テーラーが、シカゴで破産寸前の会社、クラブ・アルミニウム社の再建に使った言葉です。

全社員が業務内容の全てを、四つのテストに照らし合わせ、言行一致の仕事をし、ついに会社を再建した事実が語り継がれています。そして今日ではロータリーの基本理念の一つになっています。

さて、同じアメリカでドイツ移民の子孫であるトランプ大統領の言行に、この四つのテストは全てノーを突きつけます。しかしロータリーの基本理念には「政治的と宗教的な問題には関与しない」ことが定められているのです。ロータリーの理念に一貫性があるにも関わらず、アメリカのような力を持った大国の政治に一貫性と寛容さがないならば、永遠に国際社会には和平が訪れないのではないでしょうか。

平和への道は、未だに茨(いばら)の道です。

さて、また歴史を見てみたいと思いますが、日本もアメリカも世界中が戦争へ加速していきます。

日本全体が戦争へ突き進んでいく中、国内でロータリーは目の敵にされ続けます。アメリカの手先でスペイ活動をしている、フリーメイソンの一味だなどと名指しでの攻撃を受けます。

攻撃した相手は、日本国家全体です。軍部であり、特高警察、憲兵、右翼、そして一般市民でした。例会前には日の丸を掲げ、国歌を歌い、誤解を解こうとの試みも多く行われましたが次第に圧力が強まり、名を変え、場所を変え、隠れキリスト教的な活動をしたという記録が多く残っています。

また、国中が戦争へまっしぐらの日本でこんな出来事もありました。

1940年（昭和15年）に日・満ロータリ一年次大会が横浜で開催されました。戦前にも日本のロータリアンは奉仕活動の輪を広げていたのです。おそらく大会は異様な雰囲気ではなかったでしょうか。

日本の傀儡国家だった満州国にロータリークラブが出来た事実があったのです。そして同年ついにRIを脱会します。

戦後1949年にRIに復帰してから、今年でRI創立120周年・日本ロータリーの創立105年となります。

これが世界と日本のロータリーの歴史です。

さて、ロータリーの理念を行動で示す人物が身近にもいました。

壽崎Pガバナーです。以前、ローターアクトの卒業式に特別寄稿を戴きましたのでここに掲載します。壽崎Pガバナーからの寛容さ溢れる青少年奉仕に心より感謝申し上げます。

今日は国際ロータリーと日本のロータリーの歩みと題して話を進めてみました。ロータリーがこれまで発展してきた歴史に少しでも興味や理解を深めていただけたら有難く思います。

有り難うございました。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2720

## 特別寄稿

長年ローターアクトに携わってこられた方々から激励の言葉を頂戴しました。



「人前でできることは人前ならできる」

国際ロータリー第2720地区  
パストガバナー 斎崎 勝

ローターアクトの勉強をしてこられた皆さん、ご卒業おめでとうございます。どんな勉強でしたか？奉仕と親睦です。大成功なさった先輩方の基本のお考えは、これです。今からの人生、言うならば苦労の連続でしょうが、それを成功の起爆剤としてとらえ、楽しみながら真剣に取り組み、何度も失敗しても挑戦することで、自分の思った通りに持っていくことができるでしょう。

ローターアクトで勉強した親睦とは、心許せる友をつくることです。職場に置き換えると、お客様は友達、部下は親友です。迷い、悩んだ時に相談できる人との出会いもあると思います。そして奉仕とは、相手の喜ぶことをやり続けることです。

アフリカ大陸のある国では、飲み水を運ぶのは決まって女性の仕事です。頭に桶を載せて片道2時間近くもかけ水を運ぶような土地に、例えば井戸を掘ったとすると、たいへん喜ばれるでしょう。こんな風に、小売業はお客様の喜ばれることが仕事です。有名なピーター・F・ドラッカー教授の教えに「事業運営の目的は顧客の創造」、「基本の徹底と変化への対応」を念頭に置き、考え方抜いて実践せよ、とあります。私はかつてこの言葉を、商業界ゼミナールで教わりました。私は東京麻布税務署で5年ほど勤めた頃、母危篤のニセ電報で呼び戻され退官しました。そこから商売の道に入ったものの何も分からなければゼミナールに参加したのです。講師のお話の中で印象に残っている言葉があります。講師の方はおっしゃいました。当時大成功をなさっていた事業家の方々——例えば松下幸之助さんや、本田宗一郎さんなど——も皆、人間なんだよ、と。命がけ、真剣に取り組んで仕事をなさった方は、どなたでも大成功される。人間がやって出来た成功、そして我々も人間なのだから、できないことは何もない、と。

こんな話を聞くことのできたゼミナールを終え帰った時、我が店の年商は700万円でした。「5年位で年商1億にもっていきたい」妻にそう話したら「税務署上りがそんな大法螺吹いたら笑われるよ」と諭されました。しかし、講師のおっしゃっていた、大成功された方も人間、私も人間、という言葉を胸に一念発起し、化粧品屋で売上を前年の2倍にすることを毎年達成していき、6年目によく当初

の目標を達成しました。ドラッカー教授の顧客の創造とは、お客様の数を増やすこと。そして変化への対応として、お客様の要望や苦情を伺いながら、新しく商品を増やし続けました。私はそれからも、次の目標は年商10億、次は100億…と、この教えを実行しました。

私の人生は、色々な方々の教えを実行することでした。有り難い人生です。40年の商売の勉強を終え社長を辞める時、秘書に社員数を調べてもらったところ、1万5000名でした。社員お一人お一人に感謝申し上げるばかりです。

あなた様がローターアクトを卒業してぼちぼちされたら、ぜひロータリークラブにご入会ください。私が推薦人をさせていただきます。ローターアクトでの勉強は、ほんとうに人生のプラスであったことをお慶び申し上げます。ありがとうございます。

## 【寄付カード】

〈ニコニコ箱〉

・堤会員 本日ポール・ハリス・バッジ等を頂きました。ありがとうございます。

・岩井会長 安達委員長、卓話大変ありがとうございます。堤会員、マルチプル・ポール・ハリス フェロー7回目、メジャードナー、大変おめでとうございます。私も少しだけ近づけるように頑張ります。

〈人吉RC奨学基金〉

・片岡会員 安達会員の卓話、ありがとうございます。久しぶりにロータリーの歴史を聞きました。何年かに一度この卓話を話して下さい。

点鐘 岩井和彦 会長